



## 目次

改善の原動力としての「参加」.....	1
持続的総合開発.....	2
セセルサンアントニオ村.....	2
AH1N1 インフルエンザを予防するためには .....	3
インタビュー: 農業生産の向上 .....	3
プロジェクトモデル村落地図 .....	4

## 改善の原動力としての「参加」

プロジェクト Minka Sumak Kawsay では、モデル村落による活発な参加を促す手法として PCM(Project Cycle Management)法を用います。この手法には、様々な利点があります。



PCM ワークショップで指導する小谷慶子短期専門家



カードに問題点を書き込む村人

### 一構成一

全ての段階が PDM(プロジェクトデザインマトリクス)により計画・運営され、そこで要約された内容によりモニタリングと評価が行われます。

### 一論理的な視点一

問題点は、原因と結果という相関関係で論理的に分析され、その分析結果は、原因となる状況を解決するために必要な活動と戦略が、問題系図の中に書き出され、示されます。

### 一参加型一

ワークショップには、全てのカウンターパート組織とモデル集落の関係者が参加します。そして全参加者がアイデアを表現し、それらを発表し、公に議論するなど、双方向的に行われます。

### 一透明性一

分析と計画は、全参加者の合意により進められ、ワークショップの結果は、問題系図と目的系図という形で記録されます。プロジェクトを計画するにあたり、このやり方は、非常に明確で、理解しやすいものです。

このように PCM 手法で行うことにより、9つのモデル村落の人々のエンパワーメントと自立発展が醸成されます。

## 持続的総合開発



プロジェクトでは、農牧生産・環境・保健衛生・教育の分野の総合的改善計画を策定する予定です。

この2年間 JICA は、チンボラソ県議会の主導による、農牧省、環境省、保健省、教育省のカウンターパート組織間での協力システムを設立するための支援を行います。

期待される成果の一つに、「持続的総合農村開発を実施するための能力が向上する」があります。その能力とは、「持続的総合農村開発に関する問題点の分析」、「持続的総合農村開発計画の策定」、「持続的総合農村開発のプロジェクトの実施、運営と管理」のことで。

プロジェクトでは、チンボラソ県農村部の9村落において、ニーズ調査をし、計画立案、試行事業を実施する予定です。

地域住民の自発性は、持続可能な発展のための鍵であり、プロジェクトでは試行事業を通し、住民による参加型発展を促します。その目的は、この2年間の土台ができた時、村落が、持続的な自立発展をする能力を持つようにすることです。

試行事業が成功し、実施する能力とシステムの強化が確認できた場合には、JICA は5年間の後続プロジェクト（フェーズII）が実施される予定です。

### プロジェクトの進捗

プロジェクトでは、モデル集落で基本ラインと現況の調査を実施しました。また、参加型ワークショップを通し、開発のニーズを確認しました（ワークショップの結果をまとめた後、開発ニーズの

分野を確認するため、保健衛生・教育・環境・農牧生産のワーキンググループを展開し、問題点と目的の系図を作成し、重点分野の選択を行いました。）

### 今後の予定

短期専門家による協力で、プロジェクトの4つの分野ごとに、開発ニーズに従って持続的総合農村開発戦略を策定します。

### セセルサンアントニオ村

リオバンバ市にある、100家族以上で構成されるセセルサンアントニオ村は、プロジェクト Minka Sumak Kawsay のモデル集落のひとつです。

村の調整役のミルトン・ムユレマ氏は、「このプロジェクトは集落にとって、教育、農業、保健衛生の分野で重要な役割を果たすでしょう。私たちの地域には、能力の開発と、貧困の削減が必要なのです。」

ムユレマ氏は、一番重要なのは農業分野を改善することだと言います。なぜならこの分野は、「家族や集落を養う」ものだからです。

村長のルイス・ソリア氏は、「私たちは強い意思を持ち、また組織化されていますから、そこで決められる全ての取り決めに基づき、一丸となって活動することができるのです」と語ります。



セセルサンアントニオ村でのワークショップ

## AH1N1 インフルエンザを予防するためには

## インタビュー：農業生産の向上



頻りに手を水と石鹸で洗うこと



咳やくしゃみをするときは、使い捨てハンカチで口を覆うこと。ごみはビニール袋に入れるのをわすれないように！



それか、肘の内角で。決して手を使わないこと！



他の人に感染するのを防ぎましょう！  
床にツバを吐かない



ビクトル・アングエタ  
農牧省(MAGAP)チンボラソ県事務所長

農牧省はプロジェクト Minka Sumak Kawsay のカウンターパート組織として積極的に参加しています。

農牧省チンボラソ県事務所長の、ビクトル・アングエタ氏は、次のようにいます。「カウンターパート機関の中でも、農牧省は、国の食糧自給のために農業生産力をあげるという大きな課題を担っています。このような大きな目的のために、灌漑と流通のような優先的課題が、農業経営の改善のために始まっています。」

「この新しいプロセスにおいては、各組織の管轄において、大きな決意と協力が必要です」と説明する。「例えば、カウンターパート組織への技術提供などの調整役を担っている、県審議会のような組織が必要なのです。」

彼は、「県審議会には、県の発展のために県のよりよい概念のことを考える意思があります。そのことが、チンボラソ県をさらに組織化し、協力した活動を実現させることでしょ」と、確信しています。



必要なときは、一番近い保健所へ行くか、次の電話まで：  
コルタ 2912 156 – 2912 127, グアモテ 2916 198 – 2916 064, リオバンバ 2628 102.

保健省チンボラソ県事務所提供

### Minka Sumak Kawsay プロジェクトモデル村落地図

モデル村落		
市	地区	村落
リオバンバ	リクト	セセルサンアントニオ
リオバンバ	カルビ	ルミクルス
コルタ	コロンベ	サンマルティンアルト
コルタ	シカルバ	エルリリオ
コルタ	シカルバ	ルミロマ
コルタ	シカルバ	カナルグアコナ
コルタ	シカルバ	グアコナグランデ
グアモテ	バルミラ	サラチュバ
グアモテ	マトリス	チスマウテテラン



### 和訳版特別記事

チンボラソ県はエクアドル中央、アンデス山系の中に位置し、5, 6 km級の火山に囲まれた高地です。首都キトからは車で3時間程度です。

プロジェクト事務所は、リオバンバ市内のチンボラソ県庁舎にあり、モデル村落は県内の3市にある9村落を対象にしています。遠い村では、車で2時間程度かかります。



この広報誌（和訳版）は、2ヶ月ごとに、スペイン語とキチュア語で作成され、関係機関やモデル村落などに配布されている、プロジェクト広報誌「Minka Sumak Kawsay」を、和訳したものです。

#### Proyecto Minka Sumak Kawsay

住所: Primera Constituyente y Carabobo esquina • 電話: 593 3 2961 516 • e-mail: proyectojica@chimborazo.gov.ec

日本語ホームページ: <http://www.jica.go.jp/project/ecuador/0800613/index.html>

スペイン語ホームページ: <http://www.jica.go.jp/project/ecuador/0800613/spanish/index.html>

キチュア語ホームページ: <http://www.jica.go.jp/project/ecuador/0800613/quechua/index.html>